

## 教えて考えさせる授業 構想シート

教 科	社会	年・学 期	1 年	指導者	
授業日	( 9 ) 月 ( 25 ) 日 ( 金 ) 曜日				

習得型の授業における「主体的・対話的で深い学び」⇒「学習者基点の能動的な深い学び」

【单元名】	日本の姿
-------	------

【本時の目標】 本時 ( 2 / 5 )	時差の求め方が理解でき、文章問題に対応することができる。
【めざす子どもの姿】	時差の求め方を理解でき、日常生活における事象を解決することができる。
【困難度査定】 (つまずきのポイント)	①時差の計算式が理解できない。 ②計算式がわかったとしても、時差を求めることができない。
【指導上の工夫】 (つまずきに対する手立て)	①ワークシートを工夫して、スモールステップ式に理解できるように工夫する。

<b>予習</b> (家庭学習等)  本時の学びにどんな課題を持って授業に臨ませたいか ※教科書を読んでくる程度でも良い	教科書を活用し、予習させる。
<b>教える内容</b> (20分)  確実に教えたい内容・確実に理解させたい内容を書く ※前時までの確認ではないことに留意する	①同じ西経どうしに位置する国の時差の求め方。 ②西経と東経に位置する国の時差の求め方。
<b>理解確認課題</b> (15分)  教えた内容が分かったかどうかを確認するための学習内容及び方法 ※ペアで説明し合う活動	※ほぼ全員が達成できることを目標にする内容 日本が1月20日 午前9:00の時、次の都市は何月何日何時になるか計算しなさい。 ① イラクのバグダット (東経45度) ② オーストラリアのキャンベラ (東経150度) ③ アルゼンチンのブエノスアイレス (西経60度)
<b>理解深化課題</b> (10分)  学習した内容を使って深めたり発展させたりして教えたことを定着させるための学習内容及び方法 ※グループで説明し合う活動	※グループ活動の活用を通して最終的に80%が説明できる程度の内容 ①日本を1月20日午前10:00に出発した飛行機が、7時間かかってインドのデリー (東経75度) に到着した。デリーの現地時間は何月何日何時になりますか。
<b>自己評価</b> (5分)  振り返りで子供たちに記入させたい文章のイメージ	※ 何が分かって (できて)、何が分からなかった (できなかった) のかを記述させる ○「わかったこと」「できるようになったこと」

